



梅佳代「坊っちゃんたち」2017年 © Kayo Ume

祖父江 慎

坊っちゃん

浅田政志

三沢厚彦

展



後援:

- 松山市
- 松山市教育委員会
- 愛媛県市町教育委員会連合会
- (公財)愛媛県教育会
- 愛媛県教育研究協議会
- 愛媛県小中学校長会
- 愛媛県PTA連合会
- 愛媛県美術会
- 愛媛県美術教育連盟
- 伊予塾グループ
- 学校法人河原学園



浅田政志「坊っちゃんアイ 2018」より 2018年 © Masashi Asada

『ホトトギス』第九巻第七号(「坊っちゃん」初出誌)1906(明治39)年



三沢厚彦 (Cat 2013-03) 2013年 樟、油彩 Photo: Kei Okano © Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery

2018年 **6月30日(土) - 9月2日(日)** 休館日:月曜日
 開館時間 9:40-18:00(入場は17:30まで)
 *ただし、7月2日(日)、7月16日(日)、8月6日(日)は開館し、翌日火曜休館
 *会期中一部展示替えがあります。

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 Tel. 089-932-0010 <http://www.ehime-art.jp/>
 お問い合わせ:「坊っちゃん展」実行委員会事務局(テレビ愛媛事業部内)
 Tel. 089-933-0322 (9:30~17:00 土日・祝日除く)



関連イベント

オープニング記念
ゆる〜くフロアレクチャー
6月30日(土) 14:00~(約1時間)

案内人:祖父江 慎、浅田政志
 場所:展示室
 *申し込み不要。ただし、本展観覧券が必要です。

驚太郎と行く!
道後で「坊っちゃん」撮影会
 —夏目漱石や正岡子規ゆかりの場所を
 散策しながら思い出の1枚を撮影します。

7月1日(日) 13:00~17:00
 講師:浅田政志 参加費:200円(※本展観覧券)
 対象:高校生以上15名(応募多数の場合は抽選)
 *往復はがきにイベント名・郵便番号・住所・氏名・年齢・ご連絡先の電話番号を明記の上、愛媛県美術館学芸課まで。6月23日(日)必着。

学芸員によるフロアレクチャー
7月14日(土)、8月18日(土)
 各**14:00~(約1時間)**
 *申し込み不要。ただし、本展観覧券が必要です。

土曜講座
「坊っちゃん展」ができるまで
7月21日(土) 14:00~(約1時間)

講師:当館学芸員
 場所:美術館ハイビジョンギャラリー
 *無料。申し込み不要。

紙粘土で猫をつくろう
7月22日(日)、29日(日)
 各**13:30~15:30**

講師:当館普及G担当係長
 場所:美術館エントランスホール
 対象:小学生以上 各10人
 *申し込み。材料費500円程度。

たんけん はっけん 坊っちゃん展
 会期中**8月の毎週日曜日**
 各**10:30~15:00**

ナビゲーター:当館作品ガイドボランティア
 場所:展示室
 *申し込み不要。ただし、本展観覧券が必要です。

前売り券販売場所

愛媛県美術館
 テレビ愛媛事業部
 愛媛新聞旅行
 愛媛新聞社の県内支社・エリアサービス(取り寄せ)
 いよつ高島屋
 フジグラン(エミフルMASAKI、松山、重信、川之江、
 新居浜、西条、今治、大洲、北浜、北宇和島)
 コープえひめ生活文化サービス
 明屋書店県内全店
 ジュンク堂書店松山店
 ローソンチケット(Lコード:62916)
 チケットぴあ(Pコード:769-035)
 セブンチケット(店頭端末マルチコピー機) 他

観覧料	当日券	前売券
一般	1,200円	1,000円
高大生	900円	700円
小中生	500円	300円

*団体(20名以上)・高齢者(65歳以上)は前売料金で当日入場可。
 *障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料です。
 *本展観覧券半券でコレクション展もご覧いただけます。



交通案内
 ※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用できますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。
 JR松山駅前より 道後温泉または市駅前行き市内電車で5分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
 松山観光港より リムジンバスで30分。「市駅」下車、徒歩5分。
 松山空港より 車で20分。

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 Tel. 089-932-0010 <http://www.ehime-art.jp/>

「坊っちゃん」に関連のある多数の資料を一挙で紹介！

祖父江慎 梅佳代 浅田政志 三沢厚彦 坊っちゃん展

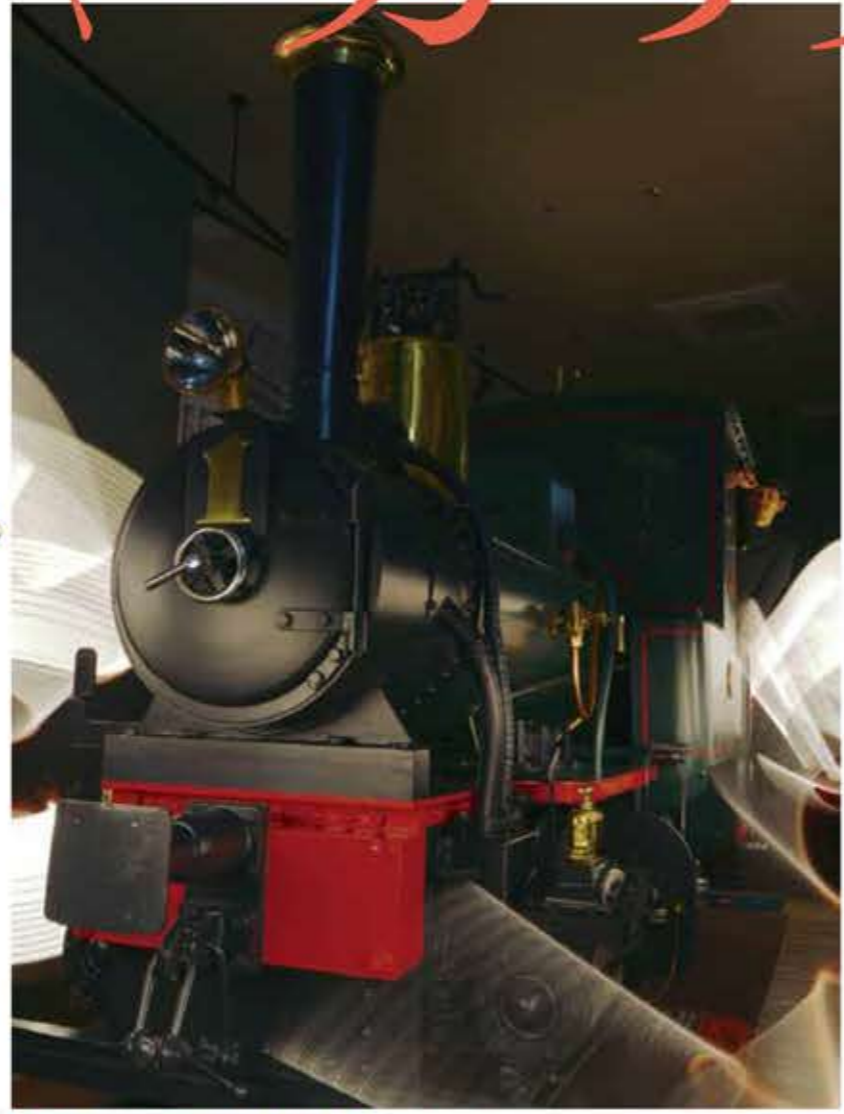


三沢厚彦 《Cat 2006-04》 2006年 棒、油彩 Photo: Yoshitaka Uchida 個人蔵

三沢厚彦 《Cat 2013-03》 2013年 棒、油彩 Photo: Kei Okano

《Cat 2014-02》 2014年 棒、油彩 Photo: Ken Kato

三沢厚彦作品 © Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery



浅田政志「坊っちゃんアイ 2018」より 2018年 © Masashi Asada



梅佳代「坊っちゃんたち」2017年 © Kayo Ume



祖父江慎 漱石「心」(岩波書店, 2014年)



夏目漱石

「坊っちゃん新聞」など魅力的なオリジナルグッズも展開予定！

坊っちゃん展



《Cat 2002-02》 2002年 棒、油彩 Photo: Yoshitaka Uchida 高橋コレクション

第六号和島丸 1901(明治34)年竣工 宇和島造船株式会社提供

漱石・子規関連資料や、その他「坊っちゃん」にまつわる多岐にわたる資料も合わせ、これまでにない「坊っちゃんワールド」をお楽しみください。



第六号和島丸 1901(明治34)年竣工 宇和島造船株式会社提供

道後温泉を中心に展開するアートイベント「道後オンセナート2018」の参加作家の内、祖父江慎、梅佳代、浅田政志、三沢厚彦の4名が、夏目漱石の小説「坊っちゃん」を軸にその魅力を存分に発揮します。

漱石愛に溢れ、漱石の原稿書き間違いも敢えてそのまま活かした無修正版「心」(岩波書店)を発表した祖父江慎は、自身の「坊っちゃん」本もお披露目するほか独自の視点で作品世界を演出し、本展全体のアートディレクションも務めます。写真家の梅佳代は、道後中学校の野球部男子生徒を「坊っちゃんたち」として得意の親密感のある表現で生き生きととらえ、同じく写真家の浅田政志は、ユーモアを交えた視点で「坊っちゃん」に登場する名シーンを撮り下ろします。また「アニマルズ」シリーズで人気を博す彫刻家の三沢厚彦は、漱石も愛し、その作中にも登場する「猫」や漱石をモチーフにした新作を手がけます。



夏目漱石(竹四郎) 1916(大正5)年 岩波書店蔵
津田青楓(漱石と猫の図) 1932(昭和7)年 当館蔵

Misuhiko Misawa 彫刻家 一九六一年、京都府生まれ一九八九年、東京理科大学芸術学修士課程修了、二〇〇〇年動物の姿を身大で彫った木彫「Animals」を制作開始。同年4年、彫刻家高橋コレクション展「ANIMALS No.31」(東京都「ヒル」美術館)、「猫」(東京都「ヒル」美術館)、「猫」(東京都「ヒル」美術館)に出品。



三沢厚彦 Masashi Asada 写真家 一九七九年、三澤町生まれ。自らも被写体となった実写写真集「道後(あまのこ)」で第34回木村伊兵衛写真賞を受賞。日本各地の市井の人々を撮影するプロジェクトにて精力的に活動している。主な展示は、「Iai Family Land 泉田邸家学賞展」(101 One・川原町美術館)、「愛」(101 One・川原町美術館)、「LOVE」(101 One・川原町美術館)、「日田家集」(101 One・人口学記念会美術館)写真展「愛」。



浅田政志 Kayo Ume 写真家 一九八一年、石川県生まれ。「男子」「女子中学生」シリーズで、キヤノン写真新世紀連続受賞。二〇〇七年、写真賞「うめ」(トリム)にて木村伊兵衛写真賞受賞。二〇一三年、東京オペラシティアートギャラリーで個展「梅佳代展 UMEKAWA」を開催。近著「白くた(日常)」(ナースカ)、「猫」(日常)に描く様々な光景を独自の観察眼で捉えた作品に定評があり、国内外の媒体や展覧会で作品を発表している。



梅佳代 Shin Sobue アーティスト、ブックデザイナー 一九五九年、愛知県生まれ。コスウィッシュ代用として印刷されたものに対する愛はすべからぬ「うらり力」をもって、日本のブックデザイン界の最前線に、小説、漫画、絵本、写真集など幅広いジャンルを手がけている。主なブックデザインに「漱石」(岩波書店)、書籍「祖父江慎十コソウィッシュ」(ハイインターナショナル)がある。漱石が好き。



祖父江慎 梅佳代 浅田政志 坊っちゃん展

三沢厚彦 梅佳代 浅田政志 坊っちゃん展